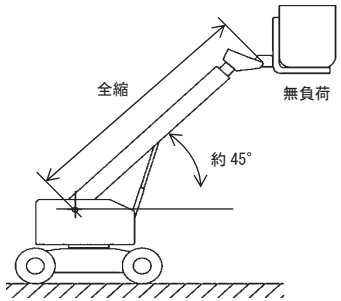
適用範囲		モデル名				5JD9	5JD9	5JD12	5JD12	5JD19	5JD21	5JD25						
適用範囲		適用号機又はスペック番号				761762 (4TNV88 ｴﾝｼﾞﾝ)	780432～ (4TNV88C ｴﾝｼﾞﾝ)	～742404 (4TNV88 ｴﾝｼﾞﾝ)	STD (4TNV88C ｴﾝｼﾞﾝ)	STD	STD	STD						
適用範囲		最大作業床高さ（m）				9.9	9.9	12.0	12.0	19.0	21.0	25.0						
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法			単位	検査基準値				検査基準値								
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル		min^{-1}	1150	1000	1150	1000	950	950	950						
			ハイアイドル		min^{-1}	2000	2400	2000	2400	1750	1750	1750						
		弁すき間	吸気弁		mm	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25						
			排気弁		mm	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25						
		圧縮圧力			Mpa (kgf/cm^2)	3.43 (35)	3.24 (33)	3.43 (35)	3.24 (33)	3.43 (35)	3.43 (35)	3.43 (35)						
		燃料噴射圧力			Mpa (kgf/cm^2)	― ―	― ―		― ―	― ―	― ―	― ―						
		※回転速度			min^{-1}	250	250	250	250	250	250	250						
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り			mm	10～13	10～13	10～13	10～13	10～13	10～13	10～13						
		※ベルト押し付け力			N (kgf)	98 (10)	98 (10)	98 (10)	98 (10)	98 (10)	98 (10)	98 (10)						
走行装置	ホイール	ソリッドタイヤ	空気圧		―	ノーパンク	ノーパンク	ノーパンク	ノーパンク	ノーパンク	ノーパンク	ノーパンク						
	走行ブレーキ	制動距離			m	―	―	―		―	―	―						
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間			mm	―	―	―		―	―	―						
		最低停止保持勾配			°	15.0	15.0	15.0	15.0	12.0	12.0	12.0						
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下方向		mm	0.5～1.0	0.5～1.0	0.5～1.0	0.5～1.0	0.6～1.1	0.6～1.1	0.6～1.1						
			左右方向	上側	mm	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	0.3～0.8	1～2	1～2						
				下側	mm	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	0.3～0.8	6～7	6～7						
		スライディングパッド	摩耗量		mm	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0						
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧			Mpa (kg/cm^2)	20.6 (210)	20.6 (210)	20.6 (210)	20.6 (210)	20.6 (210)	20.6 (210)	20.6 (210)						
		※ポンプ回転数	低速		min^{-1}	1300	1400	1300	1400	1400	1400	1400						
			高速		min^{-1}	2000	2400	2000	2400	1750	1750	1750						
		作動油			―	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22						
		油温			℃	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10						
	油圧シリンダー	自然降下量 ※1	起伏		mm/10min	2	2	2	2	2	2	2						
			伸縮		mm/10min	2	2	2	2	2	2	2						
			平衡装置		mm/10min	2	2	2	2	2	2	2						
安全装置	車体傾斜角警報装置	作動角度	前後		°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5						
			左右		°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5						
	高速走行規制	ブーム姿勢	起伏角			起伏10度以上	起伏10度以上	起伏10度以上	起伏10度以上	起伏10度以上	起伏10度以上	起伏5度以上						
			伸縮			ブーム全縮以外	ブーム全縮以外	ブーム全縮以外	ブーム全縮以外	ブーム全縮以外	ブーム全縮以外	ブーム全縮以外						
	作業範囲規制装置	作業範囲規制　※4			―	―	―	―	―	○	○	○						
		モーメントリミッタ　※4			―	―	―	―	―	―	―	―						
総合テスト	作動速度 測定方法 ※2	起伏(リフト)	上		s	40±6	40±6	40±6	40±6	40±6	40±6	50±7						
			下		s	40±6	40±6	40±6	40±6	40±6	40±6	50±7						
		伸縮	伸		s	20±5	25±5	25±5	25±5	35±5	40±6	60±9						
			縮		s	20±5	25±5	25±5	25±5	30±5	40±6	60±9						
		旋回	右		s	60±9	60±9	60±9	60±9	80±12	80±12	94±14						
			左		s	60±9	60±9	60±9	60±9	80±12	80±12	94±14						
		バスケット首振	右		s	15±3	15±3	15±3	15±3	15±4	15±4	15±4						
			左		s	15±3	15±3	15±3	15±3	15±4	15±4	15±4						
		走行	高		km/h	4±0.4	4±0.4	4±0.4	4±0.4	4±0.6	4±0.6	4±0.6						
			低		km/h	0.7±0.1	0.7±0.1	0.7±0.1	0.7±0.1	1±0.2	1±0.2	1±0.2						

注）安全装置の作業範囲規制装置測定方法はモデルやウエイトの重量によって異なります。
　　測定方法はサービスマニュアルを参照して下さい。

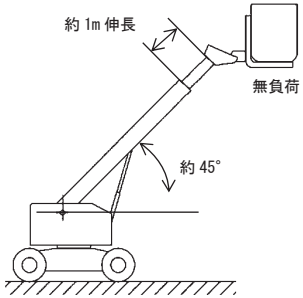
※１．起伏自然降下測定

（１）ブームを起伏角約 45°、ブーム伸長は全縮にセットする。
（２）車両エンジンを停止する。
（３）起伏シリンダーロッドにマーキング又はダイヤルゲージをセットする。
（４）エンジン停止後 5 分経過した後に、マーキング又はダイヤルゲージの 0 点を合わせる。
（５）10 分間経過させ、自然降下量を測定する。



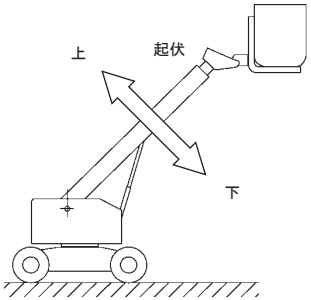
※２．伸縮自然降下測定

（１）ブームを起伏角約 45°、ブーム伸長を約 1m にセットする。
（２）車両エンジンを停止する。
（３）第 1 ブーム第 2 ブーム間にてマーキング又はダイヤルゲージをセットする。
（４）エンジン停止後 5 分経過した後に、マーキング又はダイヤルゲージの 0 点を合わせる。
（５）10 分間経過させ、自然降下量を測定する。



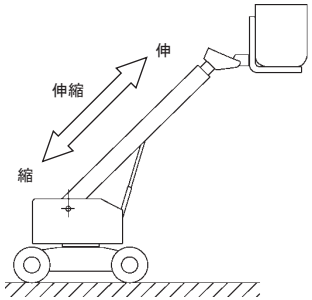
※３-１．ブーム起伏速度

（１）車両を水平堅土上にセットする。
（２）ブームを動かす方向の周囲に障害物がないか確認する。
（３）伸縮「縮」で最縮状態にする。
（４）起伏「下」スイッチを押しブームを一番下まで下げる。
（５）起伏「上」スイッチを押しブームを一番上で止まるまでの時間を測定する。
（６）起伏「下」スイッチを押しブームを一番下で止まるまでの時間を測定する。



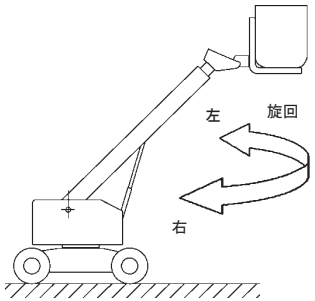
※３－２．ブーム伸縮速度

（１）車両を水平堅土上にセットする。
（２）ブームを動かす方向の周囲に障害物がないか確認する。
（３）ブームを起伏上げで止まるまで動かす。
（４）伸縮「縮」スイッチを押しブームを一番最縮まで縮める。
（５）伸縮「伸」スイッチを押しブームが最長状態で止まるまでの時間を測定する。
（６）伸縮「縮」スイッチを押しブームが最縮状態で止まるまでの時間を測定する。



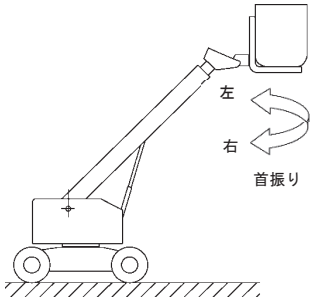
※３－３．ブーム旋回速度

（１）車両を水平堅土上にセットする。
（２）ブームを動かす方向の周囲に障害物がないか確認する。
（３）ブームを起伏上げで止まるまで動かす。
（４）伸縮「縮」で最縮状態にする。
（５）旋回する最初の位置を決旋回「右または左」スイッチを押しブームを 1 回転させ、1 回転する時間を測定する。
（６）旋回スイッチを先ほどと反対側に入れブームを 1 回転させ 1 回転する時間を測定する。



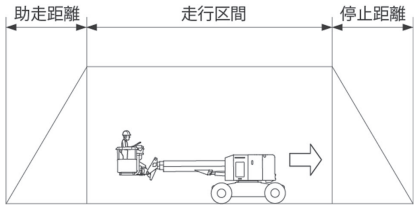
※３－４．首振り速度

（１）車両を水平堅土上にセットする。
（２）首振りを動かす方向の周囲に障害物がないか確認する。
（３）首振り「右または左」スイッチを押し首振りをエンドまで動かす。
（４）首振りスイッチを押し首振りが止まるまでの時間を測定する。
（５）首振りスイッチを先ほどと反対側に入れ首振りが反対側エンドで止まるまでの時間を測定する。



※３－５．走行速度測定方法

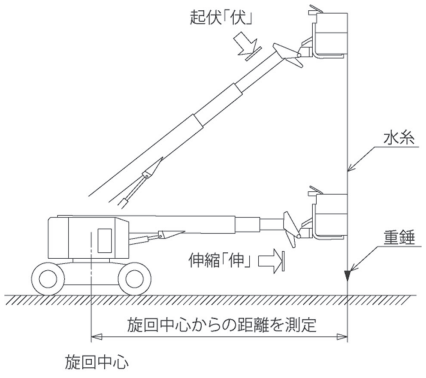
［測定要領］
１）車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
２）走行操作レバーをいっぱいまで操作する
３）車両が最大速度になるまで助走させる
４）速度が安定した走行区間の速度を測定する
※ブームの姿勢や切り替えスイッチを切り替え「高速」、「低速」を行う



※４．作業半径測定

［検査機器］
１．角度計
２．巻尺
３．重垂
４．水糸

※測定値や測定方法はモデルによって異なります
　また同じ機種でも張り幅やウエイトの重量によっても異なります

［測定例　L-MAX］
※測定はL-MAX（ブーム全伸長）の他にL-MIN（起伏角水平）があります。
　詳細はサービスマニュアルを参照してください

１）車両を水平堅土上にセットする
２）車体は前後左右水平にセットする
３）バスケットにウエイトを積載する
　（機種、仕様により異なっているので各機種のデータを参照のこと）
４）ブームの操作は下操作で行なう
５）ブーム操作は低速にて行なう
６）ブームが自動停止した作業半径を巻き尺にて測定する
７）規定の作業半径（最大許容作業半径）に達しても、ブームの作動が停止しない場合は操作をやめ、作業半径が大きくなる側への操作は絶対に行なわないこと
８）測定後ブームを操作する際は、ブームを全縮にした後、旋回操作を行なうこと